

美しい加古川を取り戻そう

草木染 KAKOGAWACOLOR

前田初代

1. 活動方針・目的

『川・海・地球が元気になると…私たちも元気なる。まずは、身近な加古川から。少しでも加古川の水が美しくなりますように…加古川の河原の草花のみで染め上げた KAKOGAWACOLOR を皆さんに知っていただきたい。』こんなメッセージとともに、草木染教室をしていくなかで知り合った仲間といっしょに活動しています。

私たちの活動が、一人でも多くの方に、自然を大切にしようとするきっかけになればと思っています。

2. 活動内容

草木染とは、植物の煮汁で色をつける染色のことです。この染色の方法では、きれいな水を使うほど、美しい色が生まれ、元気な草木からは澄んだ色を発色させることができます。月に1度、加古川の河川敷に草花を摘むために足を運ぶと、四季の移ろいを感じることができます。季節ごとにセイヨウカラシナ、あかつめ草、コスモス、風くさ、くず、ススキとさまざまな草花が出現し一面を多彩に咲き染めています。

この草花から色をいただき、染める。こんな美しい色が、私たちのすぐそばにある自然から生まれることを知ってほしい。そんな想いから、草木染教室をはじめました。

一方で、河原にいくたびに、私たち人間が自然を汚していることにショックを受けます。ゴミがあふれ、木々のあたりにはビニールがまきつくありさま。

そこで、草木染から生まれる美しい色を伝えるだけでなく、「自然を守ろう」というメッセージを人々に伝える活動を仲間とともに始めました。

そのひとつとして、年間数回の作品展を開催し、メッセージを伝えるために、絹のストールを流域の皆さんにも使ってもらうことにしました。ストールは身につけないと意味がありません。身近な加古川で採れた草で染められたものだとわかればうれしいのではないかと考えました。そして、売り上げの一部は、リバークリーン・エコ炭銀行など、加古川流域で活動する団体に寄付し、水質改善の取り組みに役立ててもらっています。

作品展を通じて私たちの活動に賛同してくださる方々とのつながりが広がっています。

自然を守っていきこうという人々の広がりがいまの私たちの活動の原点になっています。

- ・私たちのメンバーから、ヘアで油をとる
- ・ちょこっとスミをちょこっと川へを広める
- ・私たちのショールを手にしていただいた方は川の水を大切にしてくれると願い活動しています。

3. 過去の失敗事例

実際、河川敷にはゴミがあふれ、木々にはビニールがまきつくなど、環境はなかなかよくなりません。私たちの力は小さいものですが、加古川流域で、同じ志を持って活動する仲間と連携していくことで、個々の活動では限界があることでも、大きな動きにつなげていくことができると考えています。

4. 今後の課題等

汚れた川をこのままにしておけないと、河川敷の草花で染めた作品によって表現し、普及させることで環境問題をうたえています。そんな活動をしていると、自然が好きな人、地域を大切にしている人など、同じ気持ちを持つ方々との出会いがあります。

出会いを楽しみ、大好きな染色を楽しみながらの活動に、行政の方々の理解・協力をいただき、川・海を守るよりすばらしい活動へと発展できればと願っています。

子ども体験教室の大切さ

(今年度5会場、450人の子どもたちと草木染を通し、自然はすごいねを KAKOGAWACOLOR のメンバーとともに体験)

私は小学校のとき、加古川で泳いでました。父の背中にくらいつき、向こう岸まで行きつけた楽しい体験はいまも忘れられません。川も美しく、加古川が大好きになりました。身近な自然の遊び場は私を引きつけ、今も河原の草花にいやされています。そのため、加古川は自然の状態のままであってほしいです。

学校の自然体験として、身近にある加古川での取り組みがもっとあるべきでしょう。それが加古川を大好きになることにつながればと願います。

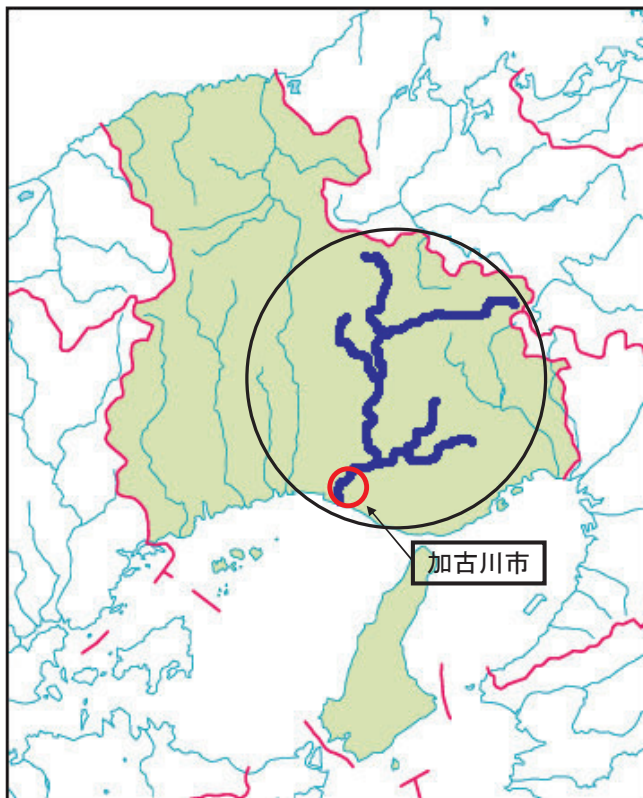
その気持ちが私のように自然を大切にする心になるはずです。

美しい川を取り戻そう 草木染KAKOGAWACOLOR



2009年3月16日
関西元気な地域づくり発表会

前田 初代



一級河川「加古川」

丹波の森に源流を發し、129もの支流を集めて瀬戸内海へと注ぎ込む加古川。全長約90キロのこの川は、兵庫県内最大の一級河川であり、その流域には約80万人の人々が生活しています。中でも加古川市は、近年、中心部の市街化やベッドタウン化、工業団地化が進み急速な発展を遂げてきました。しかしその一方で、かつての美しい「かこがわ」は姿を消し生活排水によって汚染されるという深刻な問題に直面しています。

加古川河川敷では四季折々の植物が見られます。



リバーグリーン・エコ炭銀行など加古川流域での連携 (第1回大会発表団体)



草木染の売上げの1割を
加古川流域の環境保全に取り
組む団体に寄付しています。

また、加古川の炭を使うこと
で、水が浄化され、染色にも
効果があります。

加古川流域で同じ志を持っ
て動く人たちとの連携をして
います。



各地で作品展・販売会を開催



環境学習の一環として小学校での出前講習会

